

# リーダーになる!

実践する上司学。  
嶋津良智による、よきリーダー、上司になるための必読コラム。



嶋津良智 著 リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。

## 第21回 部下に任せて新たな仕事を

仕事を部下に任せるのも上司の能力の一つ。上司としての究極の仕事は、部下に任せ育て、自分の仕事をなくし、さらに上の新しい仕事をする事です。

部下に仕事を任せることができない、なんでも自分でやらないと気が済まない人、何もかも知らないという上司が、みなさんの周りにもいるのではないのでしょうか。そんな人たちに理由を聞いてみると、「自分でやったほうが楽」「教える手間がいらぬ」「自分のほうが早い」などの答えが返ってきます。

上司の方が経験豊富で、能力も高いのですから、上

司自身も、上司は部下よりも高い給料をもらっています。会社は、部下と同じ

### 仕事を部下に任せる さらに上の仕事に挑戦

さても、上司は部下よりも高い給料をもらっています。会社は、部下と同じ

仕事、部下でもできる仕事を、どんどん上司にやってもらうために、高い給料を払っているのではありません。部下とは違う仕事、部下を育てる仕事などをするために、上司という立場が与えられているのです。

わたしは常日ごろから、「上司の究極の仕事は自分の仕事をなくすこと」と言っています。今まで自分がやっていた仕事をどんどん部下に任せて、上司自身の手が空いてくるようにするという意味です。そして、時間のできた上司は、さらに上の新しい仕事や違う仕事にチャレンジしていくのです。



たら、自分でやっていたころより、時間がかかったり、精度が落ちたりすることもあるでしょう。初めてその仕事をするのですから、上司と同じ速度、レベルでやれと言う方が無理な話です。でも、そこであれこれと口を出し続けていると、部下は育ちません。任せたら、放りっぱなしにしてしまうと、放りっぱなしにしろというわけではありませんが、じっと待ち、我慢するこ

### 部下の成長を見守る 待つことも我慢も仕事

子育てだって、親は子どもが立てるようになったり、話せるようになったりするのをじっと待ちますよね。部下だって同じです。最初ほうまういかなくても、次は少しマシになるはずですよ。その次はもっと成長しているはずですよ。根気のいる作業かもしれませんが、そのように部下をスキルアップさせていくことが、上司の仕事なのです。

載) 『上司のルール』より転